



## 第 22 回例会報告(12月6日)

### 【出席報告】

・会員数	53名	・出席数	34名	・欠席数	19名
・当日出席率	68.75%	・前々回修正出席率	80.00%		

<欠席会員> 原、檜垣(俊)、檜垣(巧)、川上、菅、桑森、光藤、村上(裕)、大澤、田中、竹田、吉田、吉武

〔免除会員〕 青野、原田、松本、白石、高木、八木

<11/22 欠席補填>(11/13 高松東)檜垣(俊)、大澤 (11/19 今治北)青野(淳)、檜垣(圭) (11/27 今治南)西本、吉田 (11/28 明石)桑森

マニタさんスピーチ・日曜日に雪が降るらしい。寒いけど雪は好きなので楽しみです。勉強の方も、ドクター論文がまとまり、今月 25 日に提出、2 月に発表して、3 月 24 日に卒業の予定です。少し早いですが、メリークリスマス、ハッピーニューイヤー。

孫さんスピーチ・日本ではクリスマスにケーキを食べたり、子どもにプレゼントしたりしますが、中国では若いカップルで祝うことが多い。日本に来て、人生で初めてサンタからプレゼントをもらいました。中国は交通が不便だからサンタがこないのかな。

会長報告・米山記念奨学会より村上修三会員へ米山功労者感謝状が届きました。

幹事報告・12月9日(日)近見山美化清掃にご参加の皆様よろしくお願ひします。

## ロータリー財団委員会アワー

第 2670 地区ロータリー財団委員長 阿部榮次氏:ロータリー財団は一昔前、「面倒くさいところ」と言われた。「金を取られる」と思われた方がいるかもしれない。今は「皆様のためのロータリー財団」となっている。樹木に例えると、根っこから奉仕の理想という養分を吸い上げ、咲かせた花がロータリー財団だ。1917 年、今でいう RI 会長のアーチ・C・クランフが国際会議の余剰金 26.5 ドルで「人間を育てる教育のための奉仕基金」を創設したのが始まり。ライオンズクラブが誕生した年で、「何かしなければ」の思いがあったのではない。

ポール・ハリスが死去した 47 年、世界のロータリアンに 10 ドル寄付を募り、集まった 177.5 万ドルで翌年「国際親善奨学生制度(教育的プログラム)」が始まった。2 期生が緒方貞子さんだ。65 年に後の MG、78 年に 3H プログラム(人道的プログラム)がスタート、85 年のポリオ・プラスプログラムあたりから名をはせるようになった。しかし、プログラムがあまりにも多岐にわたるため、2013 年度から身近で簡潔なものに再編成することになった。これが「未来の夢計画」であり、グローバル補助金 新地区補助金 の 2 事業が柱となる。は国際的で大規模な奉仕活動で、3 万~20 万ドル以上のプロジェクト。は地元や海外での小規模で短期の奉仕活動。金額的には約 30 万円で、使える額は従来の 2.5 倍になる。中身は地区で決めることになっており、そのための準備を本年度中にしていただく。まず、今月 2、8 の両日、高知と高松でセミナーを開催、補助金の使い方の説明を行った後、各クラブから覚書(MOU)を年内に取りまとめたい。の申請はいつでもいいが、は 2 月 1 日から 3 月末までに申請してもらおう。来年度の企画を立ててほしい。未来の夢計画がなぜ出来たか。それは 2017 年に 100 年を迎えるロータリー財団の第 2 世紀に備えるためだ。ロータリアンの奉仕の焦点に絞り込み、全世界的な影響力を高めるためだ。いろいろ制約はあるが、地元のニーズを汲み上げ、企画を立てて大いに利用してほしい。

<ゲスト> 第 2670 地区ロータリー財団委員長 阿部榮次様

米山記念奨学生 ティミルシナ・マニタさん、米山記念奨学生 孫玉梅さん

## 次回例会(12月13日)

### 【年次総会・会員卓話】

<会員誕生日祝>	重松 宗孝氏(12/16)	檜垣 俊二氏(12/20)	島田雄二郎氏(12/27)
	西本 信保氏(1/6)		
<配偶者誕生日祝>	渡邊 道信氏(12/14)	小堀陽一郎氏(12/14)	木村 敏明氏(12/14)
	檜垣 直孝氏(12/14)	久米 操氏(12/22)	
<結婚記念日祝>	青野 明高氏(12/19)		
<入会記念日祝>	阿部 真弓氏(12/18)	村上 修三氏(12/25)	板脇 ゆか氏(1/6)
	原 竜也氏(1/8)	村上 裕一氏(1/8)	冠 康秀氏(1/9)
	矢野 暢生氏(1/9)		

{ 笹 }